

〔 例題 5 〕 公的機能とガバナンスに関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 行政におけるガバナンスという概念は、民間セクターや NGO などとの連携や協働をせず、政府のみが公共政策を進める主体となることを指している。
2. PFI は、公平な行政サービスを提供する必要がある分野について、国や地方自治体が民間事業を買い上げ、政府部門だけで当該事業を行う制度である。
3. 民営化は、国営企業等を民間企業へ転換することを指し、第二次世界大戦後、日本でそれが行われたのは郵便事業が唯一の例である。
4. 現在日本で推進されている「自治体 DX」では、「自治体の情報システムの標準化・共通化」が取り組まれている。
5. 日本の第三セクターは、官民共同出資の法人であり、その業務分野は上水道事業に限られている。

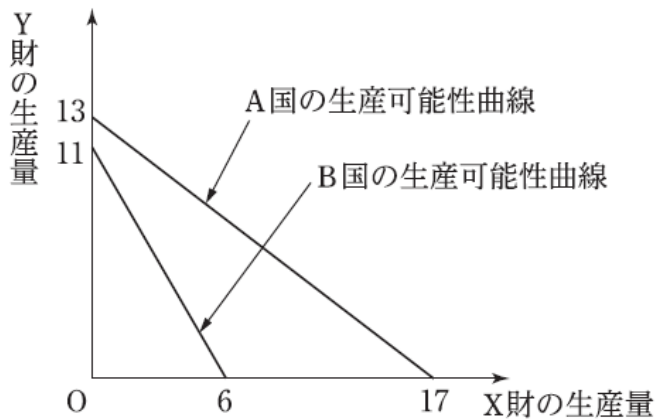
正答：4

〔 例題 6 〕 債務不履行における過失相殺に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。ただし、争いがある場合は判例による。

1. 過失相殺は、債務不履行自体について債権者に過失があった場合に限られ、損害の発生及び拡大に過失があった場合には認められない。
2. 債権者の履行補助者に過失があった場合、債権者自身に過失があったものとみられて過失相殺が認められる余地がある。
3. 債務不履行に関して債権者に過失があった場合、裁判所は賠償額のみを軽減することができる旨が民法上定められている。
4. 債権者の過失となるべき事実については、債権者が過失のなかったことを立証する責任がある。
5. 債務者から過失相殺の主張がない場合、裁判所は、職権で過失相殺をすることはできない。

正答：2

- 〔 例題 7 〕 図は、A国の労働者が生産できるX財、Y財の組合せを示したA国の生産可能性曲線と、B国の労働者が生産できるX財、Y財の組合せを示したB国の生産可能性曲線を示している。これに関する次の文中のア～オに入るものがいずれも妥当なのはどれか。



X財の生産に絶対優位があるのは , Y財の生産に絶対優位があるのは である。X財を1単位多く生産するときに生産を諦めなくてはならないY財の量は の方が多く、X財を生産する機会費用は の方が大きい。したがって、X財の生産に比較優位があるのは , Y財の生産に比較優位があるのは である。

- | | ア | イ | ウ | エ | オ |
|----|----|----|----|----|----|
| 1. | A国 | A国 | A国 | B国 | A国 |
| 2. | A国 | A国 | B国 | A国 | B国 |
| 3. | A国 | B国 | A国 | B国 | A国 |
| 4. | B国 | A国 | B国 | A国 | B国 |
| 5. | B国 | B国 | B国 | B国 | A国 |

正答：2